

# 産業技術で意見交換 県と関西連合がセミナー

徳島県と関西広域連合が初共催した「2011年度地域産業技術セミナー」が17日、徳島市の徳島県立工業技術センターであった。徳島県立工業技術センターと、関西広域連合に加盟する2府4

県の公設試験研究機関が研究成果を発表。各研究機関の関係者や県内外の中小企業技術者ら約百人が耳を傾けた。

徳島県立工業技術センターは、ソバ殻抽出物の血糖上昇抑制作用や、ス

ギの樹皮繊維を吸音材料として活用する技術など、地域

色豊かな研究を発表。県内企業などと共に進めている技術開発の報告もあった。

2府4県の研究機関も、独自技術をアピールした。滋賀県工業技術総合センターは、アルツハイマー病の早期診断薬の開発や、湿潤療法用ほんそうこう開発の支援について紹介。和歌山県工業技術センターは、同県で

育種されたウメの新品種「橙高」を使った果肉入り梅酒の色保持法を発表した。各発表テーマに関するパネル展示もあり、研究機関の研究者が企業関係者の質問に応じた。企業関係者は新商品開発や技術向上につなげようと、熱心に意見交換していた。



発表内容について意見交換する企業関係者ら＝県立工業技術センター

た。 (湯浅翔子)